

アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.184/2022 年 5 月

【1】一種研開催報告

ー種研が5月19日,20日の2日間,神戸ポートオアシスを現地会場とするハイブリッド方式で開催されました (写真1). やはり現地会場での議論は実りあります.

今回は、 A・P研チュートリアル講演1件、IEEE AP-S Kansai Chapter特別講演1件を含め19件の講演がありました(写真 2).

チュートリアル講演では、住友電工の山岸傑氏より、 ミリ波車載レーダ用アンテナ開発の難しさや28GHz帯 を用いた自動運転に向けた車両ルーフアンテナのユー スケースなど、興味深い内容をお話しいただきました。

Kansai Chapter特別講演では、大阪電通大の何一偉先生より、地下探査レーダに関する電磁波の近似解析、FDTD数値解析、レンズアンテナの実験、AIを用いた地下物体推定など、何先生の学生時代から最近までの研究成果について解説いただきました。



写真1 現地会場の様子



写真 2 講演者および座長等 (左から、山田委員長、小西先生、何先生、山岸さん)

【2】アンテナ伝搬基礎講座―測定の基礎―開催案内

前号の「お知らせ」にてアンテナ伝搬基礎講座の開催案内を掲載しましたが、今年は「測定の基礎 (KK-21M)」も開催されます、日程は7/6の午後です、講師は、石井望先生(新潟大学)で、インピーダンス測定、パターン・利得測定および応用測定の例などを解説いただきます。

基礎講座と同様にオンライン開催で、受講料も講義資料も、またまた無料!です、受講申し込みは6/27までですので、研究室の学生さんだけでなく、企業の若手研究者の方々も是非聴講ください、詳しくは $A \cdot P$ 研HPをご覧ください。

【3】ISAP2025準備状況報告

ISAP2025 (International Symposium on Antennas and Propagation) の開催に向けて、5月21日に第1回実行委員会が開催されました。ISAP2025の会場は<u>アクロス福岡</u>,会期は2025年10月27日~31日を予定しています。下記に執行部および各委員会委員長の体制を示します。3年後の開催にむけて様々な魅力的な企画が用意されますが、準備していると、あっという間にやってきます。開催成功に向けて、皆様、参加者として、発表者として、運営者としてのご参画をお願いします。



写真3 実行委員のメンバー (アクロス福岡にて)

【執行部】[委員長] 陳 強(東北大)

[副委員長]山田寛喜(新潟大),山口 良(ソフトバンク),藤元美俊(福井大) [幹事] 有馬卓司(農工大),中本成洋(三菱電機) [幹事補佐] 今野佳祐(東北大)

【各委員会委員長】[論文]今井哲朗(電機大) [学生コンテスト]本間尚樹(岩手大)

[表彰]高橋 徹(三菱電機) [登録]木村雄一(埼玉大) [会場]福迫 武(熊本大)

[催事]西山英輔(佐賀大) [展示]深沢 徹(三菱電機)

[国際アドバイザリ]広川二郎(東工大), 榊原久二男(名工大),

[財務]北尾光司郎(NTTドコモ) [Women in Engineering]袁 巧微(東北工大)

【4】AP研執行部退任者の挨拶

2021年度のAP研執行部は下記の体制でした.

委員長:山田寛喜(新潟大) 副委員長:藤元美俊(福井大)

幹事:北尾光司郎(NTTドコモ), 道下尚文(防衛大) 幹事補佐:金ミンソク(新潟大)

6月からの新体制は次号で紹介することとし、今回は退任される方々のご挨拶をお送りします。

[北尾 幹事]

おかげさまで、2年間の任期を終えて、この度幹事を退任することとなりました。任期中は、コロナ禍ということもあり、オンライン開催との付き合いが長くなりました。当初は、手探りのことが多く、色々とトラブルもありましたが、皆さんのサポートで無事運営を継続できました。任期の途中からは、現地+オンラインのハイブリッド開催にも挑戦しましたが、こちらも、当初は機材にも不慣れで、トラブルがあったことを思い出します。最近は、ハイブリッド開催の経験もかなり蓄えられ、安定した開催が継続できており、皆さんと協力しながらの活動が実ってきたと感じています。ここまで、オンライン関連のことばかり書きましたが、ここ最近、比較的続けて現地参加して感じましたが、やはり研究会は会場で皆さんと議論しながら盛り上がるのが一番ですね。世間がオンライン前提の活動に慣れてしまった感がありますが、現地で得られる体験や感動に勝るものはないと思いますので、是非、現地での参加をご検討下さい。私も、引き続き現地のA・P研に参加できるように、研究に励みたいと思います。2年間本当にありがとうございました。

[金 幹事補佐]

コロナパンデミックのスタートからA・P研幹事補佐の仕事を始めたのですが、まさかまる2年間コロナ禍で任期を終えるとは思っていませんでした。個人的には、最高齢幹事補佐で遅くなりすぎましたがA・P研に貢献すべくノルマを何とか達成したと思っています。これからは研究活動に専念しA・P研のコンテンツとして貢献できればと思っています。任期中は、思わぬ長期化したコロナ禍のなかで研究会のオン/オフライン・ハイブリッドシステムの構築や、ホームページを通じた研究会活動の効率的な可視化を推進してまいりました。また、A・P研の強みであるワークショップの広告と受付を連携したシステムやメールマガジンの構築など、長年研究会運営で必要と感じていたことをうまくシステム化することができました。コロナ禍でスキンシップの機会はあまりありませんでしたが、このような時こそA・P研システムを有効に活用することができたと思います。これからも一層発展させて引き続き運用してもらいたいです!末筆ながら沢山ご支援くださったA・P研執行部の皆様に感謝申し上げます。

【5】 副委員長の戯言

◆A・P研執行部を卒業された方、やっと卒業された方、お疲れさまでした.

5月一種研では、近年A・P研幹事団を退任された陳強先生(東北大)、黒川悟さん(産総研)、深沢徹さん(三菱電機)、有馬卓司先生(農工大)、および今月で退任となる、北尾光司郎さん(NTT ドコモ)より退任記念として講演いただきました。例年なら退任のタイミングでいわゆる卒業講演として発表いただくのですが、コロナの影響により4名の方は時期をずらしての発表となりました。これでようやく卒業ということになりましょうか(笑)。

なお、現委員長の山田寛喜先生(新潟大)も発表されましたが、これは卒業講演ではありません。「おっ、飛び級か!」と思いましがが、まだまだ現役執行部です。

※今号は書くべき記事が多くて、戯言はあまり書けませんでした。すいません。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 藤元美俊 (福井大学)

E-mail: ap_ac-chair@mail.ieice.org(A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET:A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP:https://www.ieice.org/cs/ap/

